

第9回 HSD ワーキンググループ 議事録

日 時 2026年2月6日(金)10:00～11:00

場 所 オンライン会議

出席者 豊田、古井、村松、高野、高木・濱元（高木工業所）、辻尾・津川（大阪教育研究所）、小山
高木・佐藤（リコージャパン）、岡部、鷺尾、鈴木、菅原、神田、（敬称略・順不同）

1. 会議の目的・概要

次回開催予定のシンポジウムに向けた最終確認を行うことを主目的とする。当日のプログラム構成、各登壇者の発表内容（特にロジックツリーの活用事例）、パネルディスカッションの方向性、および参加者アンケートの設計について討議を行い、当日の運営体制を確定させた。

2. 主な議題

1. シンポジウム当日の発表内容および構成の確認
2. HSD（健康投資）と企業経営、ロジックツリーの活用について
3. パネルディスカッションの進行と論点
4. 参加者アンケート項目の検討
5. 当日の役割分担とタイムスケジュールの確認

3. 討議内容と決定事項

(1)HSD（健康投資）の定義とロジックツリーの活用

これまでの「守りの健康管理」から、SDGs や企業生活の向上に波及する「攻めの健康投資」への転換について議論が行われた。特に「ロジックツリー」の活用が、中小企業が健康投資を具体化する上で重要な軸となることが確認された。

攻めの健康投資：HSD の要素を単なる健康管理に留めず、会社全体や社員の生活向上に繋がる「攻めの投資」として発信する。

ロジックツリーの意義：

健康投資の目的を可視化・整理するツールとして機能する。

「なぜそれをやるのか」が整理されることで、社員が自社の取り組みを語れるようになり、誇り（エンゲージメント）の向上に繋がる。

(2)シンポジウム登壇内容・事例紹介

各登壇予定者より、当日の発表内容の方向性が共有された。

株式会社高木工業所（高木様）：

当初は福利厚生・離職防止の観点で開始したが、ロジックツリーで整理することで社員の意識が変化した事例を発表。

人材採用への波及：社員が自社の魅力を語ることで、「人が人を連れてくる」リファラル採用のような効果が生まれた。

自律性の向上：健康経営の取り組みを社員に任せることで成功体験が生まれ、本業における主体性や課題解決意識の向上にも繋がっている。

大阪教育研究所（辻尾様）：

ロジックツリー作成時と現在の変化、社会課題解決への展開について発表予定。

資料は来週初頭に提出予定。

(3)アンケート設計の変更

参加者の満足度だけでなく、具体的なフィードバックや行動変容を把握するため、アンケート項目の見直しを行った。

自由記述の重視：村松先生、辻尾様より、点数評価よりも自由記述（フリーコメント）欄を充実させるべきとの意見が出された。具体的な感想や「聞いてよかった点」を収集する。

ロジックツリーへの意欲：「ロジックツリーを作成してみたいか」「活用したいか」という意向を問う項目を含める。

社内体制の確認：健康経営が社長単独ではなく、チームとして取り組まれているか等の現状を聞く項目も検討する。

(4)その他の意見

高野先生：ロジックツリーが軸として定着していることを評価。古井先生の登壇が大きな求心力となっている。

鷺尾様：中小企業のトップ課題である「人材確保」に対し、健康経営が効果を発揮するという点は、全国の経営者に響く強力なメッセージになるとの指摘があった。

鈴木様：会の持続可能性を高めるため、スポンサーシップ等の経済性を持たせる視点の重要性について言及があった。

4. 次回アクション・当日の役割分担

当日のスケジュール・集合

開催日：来週木曜日（12日）

集合時間：11:15

役割分担

全体管理・総括：岡部

司会（MC）：高野

登壇・発表：古井、高木、辻尾、末吉

設営・運営サポート：事務局および現地参加メンバー

5. その他特記事項

本シンポジウムは4回目の開催となり、HSDワーキンググループとしての活動の一つの集大成となる。今回は初めてワーキンググループ内メンバーだけが登壇側として事例発表を行う重要な回となる。多くのメンバーより「人が人を連れてくる（採用効果）」や「社員の自律性向上」といった副次的効果への共感が示され、これを強く発信していく方針が確認された。